

平成28年5月25日  
 国立大学法人 山梨大学

## 平成28年度事業計画：地域の発達と情報

### 【事業の概要】

山梨大学の学内融合研究「地域の発達」において、以下の研究を実施する。

- (1) 道路健全度評価システム（社会基盤の健全度評価）の開発（吉田准教授）。
- (2) 山梨県の景観情報や地盤情報などの収集、収集した情報を登録、利用できるクリアリングハウスの構築（鈴木教授、大山教授、後藤准教授）。
- (3) 高密度気象センサーを用いた土砂災害予測技術（荒木助教）。
- (4) ミュオンを用いた地下構造、コンクリート構造物のセンシング手法の開発（齊藤准教授、後藤准教授、荒木助教）。
- (5) 微動を用いた表層地盤の効率的なセンシング技術の開発（宮本助教）

### 【役割分担】

- (1) 大学はシステム開発、山梨県は検討サイト提供、評価、道路管理資料の提示。
- (2) 大学はデータベース構築、山梨県は地盤データ提供。
- (3) 大学はセンサー開発・センシング、山梨県は観測結果の評価、実用化に関する協力。
- (4) 大学はセンシング、山梨県はサイト提供、センシング結果の評価、資料提供。

## 道路健全度評価システム

